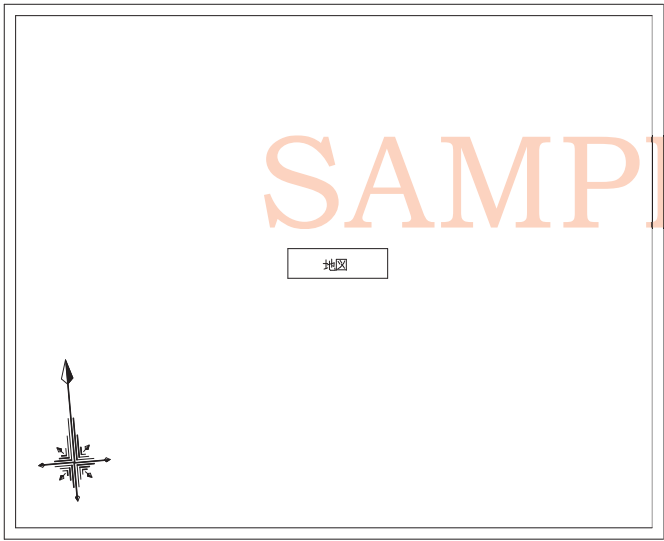


別添図 1

改修工事における図面作成例

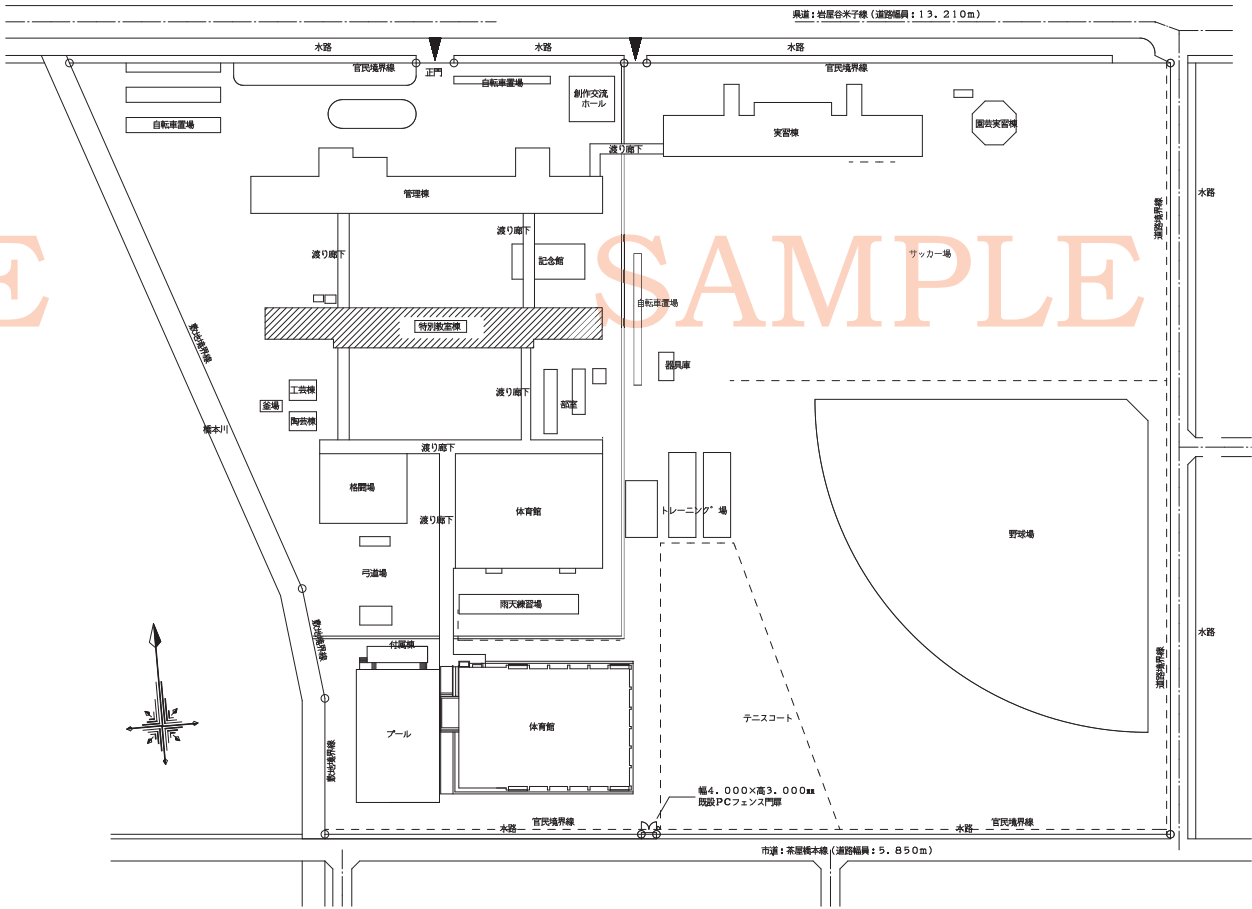
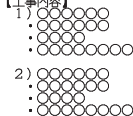
※この作成例は、改修工事における対象部分の明示方法の例を示したもので、改修内容の例を示すものではありません。



地区

案内図

【工事内容】



配置図 S=1/1,000

凡例

	改修建物を示す
---	---------

工事名称、図面名称、図面縮尺、図面番号、建築士事務所名称、設計者名等 記載欄

鳥取県総務部営繕課

共通事項

1 各項目の実況及びその適用は特記仕様書Ⅱ、2、特記仕様による。

2 (O-○○)、(○-○○○)は参照詳細図(令和4年度)の詳細番号(以下「詳細番号」という)を示す。

3 特記以外の修繕箇所、取替等については、SOP(F☆☆☆☆)とする。

4 各図面に示す略号は下表による。

5 L.P-1、L.P-2、L.P-3の位置は平面図による。

6 階段室の天井仕上げは最上階の天井仕上げを示し、段差は特記による。

7 室名を「 」で囲んだ室は、化学物質の漏洩測定の実施対象室及び測定箇所数を示す。
(記入用)

8 測定対象室 → 測定箇所 → 測定箇所

外部仕上げ

床

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

タイル (1-01-6)

RC (1-01-3 ；増し厚さ10mm)

天然石(ひき石) (1-01-9、1-01-10)

モルタル、防水モルタル (1-01-1)

防蟻フロップ (1-01-7)

壁、柱、はり

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

外装タイル密着剤 (2-01-4)

RC (2-02-7、2-02-11)

天然石(ひき石) (2-02-1、2-02-2)

モルタル、防水モルタル (2-02-12)

塗材 (2-02-7、2-02-11)

天井

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

RC (軒天、DR(軒天凹)) (3-01-4)

金属板形張り (3-01-9)

新 天

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

DR (軒天、DR(軒天凹)) (3-01-4)

金属板形張り (3-01-9)

庇

単壁、柱、はり、屋根、軒天に同じとする。

内部仕上げ

床

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上げ種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

F.S、K.T、P.T [N.C、C.T、C.T.S、H.T] (1-01-4；仕上げ増し増し厚さ10mm) RC

タイル (1-01-5)・(1-01-6)

カーペット (1-02-4)・(1-02-5)

たみ (1-02-3)

天然木化粧薄合フローリング (1-02-8)

RC、床用塗料、防蟻用塗料 (1-01-3；増し厚さ10mm) RC

モルタル、防水モルタル (1-01-1) 防水モルタル厚さ※15・30

幅 木

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上げ種別

既存詳細番号

改修後

高さ(mm)

VB (2-11-1、2-11-9) 6.0

WB(密着 塗材) (2-11-4)；CL仕上げ (2-11-2)

柱 壁

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上げ種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

ボード張り (RC又はCB下地) (2-01-2)

内装タイル (RC又はCB下地) (2-02-12)

吸音材張り (RC又はCB下地) (2-02-13)

天 井

(1) 軽量鉄骨天井下地は (3-21-1、3-21-2、3-21-3、3-41、3-42) とする。

(2) 下地の番号のボード厚さ等以外は特記による。

略 号	既 存	改修後	
詳細番号	厚さ (mm)	詳細番号	厚さ (mm)
DR		(3-01-4)	・9・12
DR (凹凸)		(3-01-4)	
ケイカル板		(3-01-2)	6
GB-NC (T)		(3-01-2)	9、5
GB-D (T)		(3-01-2)	9、5
RW又はGW張り		(3-01-12)	25

(3) 天井の仕上げが壁紙張りの場合は突付け工法 (3-01-7、8)、塗装仕上げの場合は目通し工法 (3-01-1、3) とする。

(4) 押入 (6-46-1) の天井はGB-R厚さ12、5mm突付け工法 (3-01-2) 塗装無しとする。

(5) 改修後の壁-天井の取合いは天井付き目地 (3-11-3、3-11-4、3-11-7、3-11-8) とする。

(6) DRの下張り は ※GB-R厚さ (※12、5mm・9、5mm) ・GB-NC厚さ9、5mmとする。

(7) 改修後のGB-NC (T)、GB-D (T) の大きさは ※910×455mm・910×910mm

(8) 軽量鉄骨天井下地に開口部を設ける場合の補強は (3-41及び3-42) による。

下地の区分欄の略号

C：コンクリート下地 CB：コンクリートブロック下地

S：軽量鉄骨下地 W：木造床 PF：ポリスチレンフォーム(床下地のみ)

M：モルタル下地 OA：フリーアクセスフロア B：ボード張

T：タイル75角下地

アス

アスベスト含有建材を示す

既 存 外 部 仕 上 げ

床

改修内容

壁

改修内容

壁・柱

改修内容

屋根

改修内容

庇上端

改修内容

庇下端

改修内容

庇ばな

改修内容

—

→

防水形増層仕上塗りE

E

押えコンクリート

E

防水モルタル

E

外装弾塗材E

E

防水モルタル

E

—

既 存 内 部 仕 上 げ

階

室 名

下地

床

改修内容

下地

幅木(腰)

改修内容

下地

壁

改修内容

下地

天 井

改修内容

備 考

1

男子便所

M

モザイクタイル

C

→

M

75角タイル

K

S

GB-R799、Oの上、EP

C

改 修 後 内 部 仕 上 げ

階

室 名

下地

床

改修内容

下地

幅木(腰)

改修内容

下地

壁

改修内容

下地

天 井

改修内容

備 考

1

男子便所

M

F.S72、O

c

VB(2-11-1)

a

T

化学ケイカル板6.0(内装タイル下地)

a

S

GB-NC(T)

c

改 修 後 外 部 仕 上 げ

床

改修内容

壁

改修内容

壁・柱

改修内容

屋根

改修内容

庇上端

改修内容

庇下端

改修内容

庇ばな

改修内容

—

→

防水形増層仕上塗りE

e

AS-T3(トーチ工法)(POAS工法)

e

X-2断取(P.OX工法)

e

外装弾塗材E

e

X-2断取(P.OX工法)

e

—

改 修 後 内 部 仕 上 げ

階

室 名

下地

床

改修内容

下地

幅木(腰)

改修内容

下地

壁

改修内容

下地

天 井

改修内容

備 考

1

女子便所

M

珪藻質タイル50角

C

M

→

M

珪藻質タイル100角

c

S

GB-NC(T)

c

改修内容凡例

A：仕上げ撤去

B：図示の仕上げ撤去

C：下地共撤去

D：図示の下地共撤去

E：下地の剥離

F：図示の下地剥離

G：建築図の下地剥離

H：図示の建築図の下地剥離

I：取外し

J：図示部分の取外し

K：既存のまま

L：仕上げ新設

M：図示の仕上げ新設

N：下地共新設

O：図示の下地共新設

P：下地剥離後仕上げ新設

Q：図示の下地剥離後仕上げ新設

R：建築の新設

S：図示の建築の新設

T：再取付け

U：図示の再取付け

V：既存のまま

※改修内容を容易に把握するため、改修前後を横に並べて表示することに。

工事名称、図面名称、図面縮尺、図面番号、建築士事務所名称、設計者名等 記載欄

鳥取県建設部営繕課

